



2025 年 12 月 1 日

各 位

太 陽 生 命 保 険 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 田 村 泰 朗



太陽生命、「住宅金融支援機構」が発行する 「グリーンMBS」への投資を実施

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 田村泰朗、以下「当社」）は、E S G 投融资の一環として、住宅金融支援機構が発行する「グリーンMBS」（以下「本債券」）への投資を決定しましたのでお知らせいたします。

本債券の発行によって調達された資金は、一定の省エネルギー性能を満たす住宅ローン債権「【フラット35】」の買取代金に充当される予定です。

なお、住宅金融支援機構は、本債券の発行にあたり、I C M A（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定める「グリーンボンド原則 2025」等に基づき、グリーンボンドフレームワークを策定しており、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）より適合性に関するセカンドオピニオンを取得しております。

<概要>

発 行 体： 独立行政法人住宅金融支援機構

名 称： 貸付債権担保グリーン第1回住宅金融支援機構債券

発 行 額： 200 億円

償還期間： 35 年

S D G s： 本債券によって調達された資金は、同法人の事業を通じて、S D G s の下記目標の達成に貢献します。



当社は、2007 年 3 月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則（P R I）」^(※)に署名し、環境（E）、社会（S）、企業統治（G）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。今後とも、責任ある機関投資家として、「T&D保険グループE S G投資方針」に基づき、事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献する取組みを進めてまいります。

以 上

^(※) 責任投資原則(PRI=Principles for Responsible Investment)とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治(E S G)の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。